

# SHIGERU BRAND

Vol. 3

1988. 12. 15

五反田簡易保険ホール

初ソロコンサート 大成功に終る...



12月15日の五反田簡易保険ホールでのコンサートも無事大成功に終り本人はもちろん、スタッフ一同大変嬉しく思っております。時代も昭和から平成へと移り皆様には新たな気持で御活躍の事と思います。また、天野も新しいチャレンジへとステップを踏み始めました。

コンサートが終わってから急速にファンクラブの入会が増え、コンサート前は、140名だったのが今では200名目前となりました。これも本人の歌に対する情熱はもちろんですが、ファンの方々1人1人の力があってこそだと深く感謝しております。

コンサート後に入会された方も、以前から入会されてる方も、一致団結して天野滋を周りの友人に、アピールし規模的にも、内容的にもより活気のあるファンクラブになるよう頑張らしましょう。

今年もまた、色々と企画を考えておりますので、天野滋をはじめスタッフ一同よろしくお願ひ致します。

# MESSAGE

ニューヨークに住んでいる進歩的な働く女性は、眠りにつくベッドに入  
て時々、「今の自分は本当に満足な日々を送っているだろうか？」と自問  
自答するという。もしYESなら、そのままゆっくり休めばいいし、NO  
ならば明日まず髪型を変えてみる。それでもダメなら恋人や夫といった人  
生のパートナーを変えてみるのだそうだ。

僕の1988年はめまぐるしく変化した年だった。レコード会社も事務所も  
移り、毎日、腕で元気に動いていたリストウォッチを変えた。なんだか車  
も新しいのが欲しくなって、パジャマや部屋でのデモテープ作りの機材も  
変えてみた。

年が明けて、気がつく時代も昭和から平成へと移り、アメリカの大統  
領も新しくなった。そんなことだから、僕が作るテープの音も、何かしら  
の変化があって当然という気がする。平成元年ということで特別なパワー  
やらエネルギーやらが働いて、僕の普段の力以上の作品がふっとできてし  
まうかもしれない。ふ・ふ・ふ・・・・。

今はテープ作りで朝早く寝たり、夕方起きたりの不規則な毎日だけど、  
そのおかげで数日前、朝6時30分過ぎだったかな、東京地方の初雪とい  
うのを体験できた。都会に降る雪はとても汚れているらしい。はらはらと  
空からゆっくり落ちてきて、なんとも弱々しい雪だった。道路にたどり着  
いた瞬間に消えてゆく雪だった。

僕の昔の詩には何度か「雪」がでてきたけれど、思い起してみるとそれ  
は永遠に止みそうもない、美しさの中に健康的で力強さがある雪をイメー  
ジしていたような気がしてくる。あれはただの“雪”じゃなかった。そ  
して、この前見た久しぶりの雪もただの“雪”じゃなかった。平成元年、  
僕はそんな微妙な違いがわかる男になって、また登場したい。もちろん、  
その時は「こんなのどう？」と、ちょっとした自信作を入れたテープをポ  
ケットに忍ばせているわけだ。

天野 滋

平成元年1月31日大守



# コンサート レポート Part 1

1988年12月15日、五反田簡易保険ホールPM6:30 開演を告げるベルが鳴り響く。やがてコーラスとピアノが静かに流れる中、ひとすじのスポットライトを浴びた天野さんが歌いはじめる。

## チケット握りしめて

「え~どうもこんばんは、天野滋です。えー今日は僕のソロデビューコンサートということで、本当にコンサートに来てくれてありがとうございます。今日は僕のニューアルバム"BECAUSE OF YOU"の中からはもちろん、NSPの曲なんかもたくさんやるし、ゲストもね、何人か来てるんで最後まで楽しんでいって欲しいと思います。最後までよろしく。」

ブルーの短めのジャケットに身を固めた天野さんは、とっても緊張している様子。

## かくれんぼ鬼は誰

F l y t o t h e M o o n

歌は世につれ

「えー今日はね、なんだかすごく緊張しそうだなーなんて・・・思って、昨日の夜はね、すごい夢を見てしまってね、"幕が開かない"みたいな・・・そんな夢を見てしまったんですが・・・最初の挨拶も結構、気のきいたこと言おうと思ってね、考えたんですけども・・・"今夜は帰さないぜ"とか・・・いろいろ考えたんですけどね、結局ふつうの挨拶になってしまいました。」

## 狂ったダイヤモンド

ピンクの風

P O I S O N o r N O . 5

この後、細坪基佳さん登場。仲良しのお二人のこと、少しずつ緊張も解け、二人とも東北、北海道なまりを交えて話が盛上がったのでした。

## B I R T H D A Y

そして、細坪さんが曲を作り、天野さんに詩をたのんだという

## 愛のナイフ

これは、細坪さんがレコードを出すつもりだったのが、いつのまにかNSPも歌うことになっていた、という曲で、1.3番を細坪さん、2番を天野さんが歌ってくれました。

続きまして「どうも、今晚は、ミュージシャンくずれの平賀です。」と登場の平賀和人さん。なつかしの平賀さんに、場内から"平賀さ~ん"の声。ディレクターとなって一年くらい。今日はその仕事をなげうって来てくれたとか。「ホントはね、内緒なんですよ。会社にばれると(首を切られるマネ)もう、命がけなんだから・・・本当はね、もう弾けないんでヨ、ホントに(BASS)一年ちょっとなんだけどもね、弾いてないの。」

久々のステージに平賀さんもキンチョーの様子。

## 夕暮れ時は淋しそう

平賀さん、いわく「いゃー、やっぱりスポット浴びるとですねー、思い出しますねえー、やっぱりいいねー。」

ところで平賀さん、ディレクターになって、NSPにいる時よりTV出演の回数が多くなったとか・・・?(東急リバブルのCM、三枝の愛ラブ!爆笑クリニックなど)

## 白い椅子の陰

ここで、セリフ入りで天野さんを悩ませたという

## 赤い糸の伝説

を歌い、平賀さんはステージをあとにしました。

## レインダンス めぐり逢いはすべてを越えて 未来 吐息のジェラシー

「えー実はね、今日ここでね、レコーディングに参加してくれた、もうひとりゲストがね見に来てくれているので・・・。」  
と鈴木康博さん登場。昨日の大阪でのご自分のコンサートの後、かけつけてくれた鈴木さん、平賀さんの使っていたマイクを調整します。

「背がでかいからさぁー、マイクが・・・それ、平賀の背の高さですよ。」  
と、天野さん。

レコーディングでは、アレンジとコーラスで参加してくれたという鈴木さんと一緒に、ニューシングル

## V I S I T O R

コンサートも終りに近づき、ステージと客席が一体となり、ほのぼのとした空気に包まれました。

「去年の今頃はあの・・・本当に僕もすごい迷った時期でね・・・。NSPが空中分解しちゃって・・・”どうしようかな・・・作曲家になろうかな”とか”それとも作詞家になろうかな・・・それからディレクターっていうのもなれたらいいな・・・”とか、あと”音楽やめて家業つごうかな・・・”と思ったら家業がなかったということで・・・とっても不安定な気持ちでお正月を迎えたんですが・・・。そんな時にちょうど去年の今頃、ジョン・レノンの”CHORUS OLD WITH ME”って曲をたまたまレコードで聞いて”共に一緒に歳をとろう”という歌なんです、それが・・・すごい、本当に素晴らしい歌なんですね。ジョン・レノンが死んでから出たアルバムなんです、アルバムの中の、デモテープの状態が入っていて、ストレートにすごい意味を”共に一緒に歳をとろう”と願って書けるのは、やっぱり、さすがジョン・レノンだなぁーと思って・・・なんか、その曲を聞いて僕も勇気づけられて、今回のアルバムに通じたんじゃないかなーと、そういう風に思っています。これからもまた、”CHORUS OLD WITH ME”のように一曲素晴らしい曲を書いて、またぜひ皆さんに聞いて欲しいなぁーと思います。今日はコンサートに来てくれて、本当にどうもありがとうございました。またぜひ、お友達をお誘いの上、こぞってコンサートに来て欲しいと思います。えー今日、最後の曲は、いろいろ悩んだんですが、この曲でしめたいと思います。」

## さようなら

アンコールの拍手

## シャツのほころび涙のかげら

「今日のバンドを紹介します。ドラムス・小柳マサノリ、ベース・内田ケンタロー、キーボード・細見トオル、坂元シュンスケ、ギター・近藤マサアキ、コーラス・久保ノリコ、野口イクコ・・・どうもありがとう！！」

アンコールの拍手

「どうも、それじゃあね、最後にもう一曲だけやってみたいと思うのですが、ホント久しぶりのコンサートで、至らない点もありましたけれど、この次はたぶん、ばっちり・・・今日もバッチリだったなぁ・・・。じゃあー最後はですね、静かな曲を歌って終わりたいと思います。ぜひまたコンサートに来て下さい。本当に今日はありがとう。」

## 夕陽を浴びて

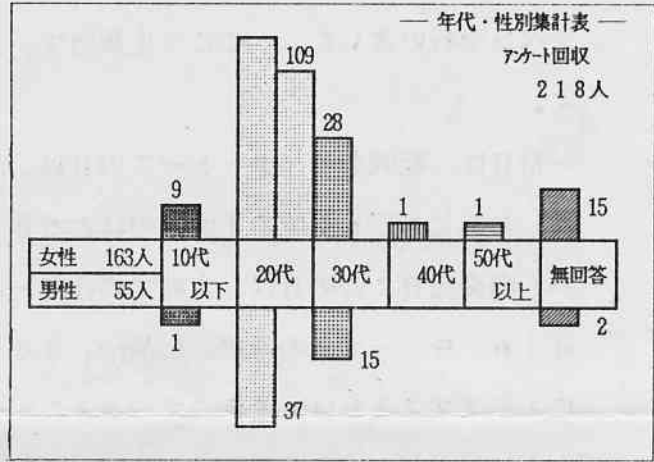
静かなコーラスが流れる中、拍手と共に幕は閉じたのでした・・・。

コンサートに参加できなかった方も、これを読んでコンサートの流れが少しでもわかって頂けたら、大変嬉しく思います。(スタッフ一同)

アンケート結果発表！！

Q・今日のコンサートで印象に残った曲は？

- 1. さようなら..... 77票
- 2. 愛のナイフ..... 60票
- 3. VISITOR..... 58票
- 4. BIRTHDAY..... 51票
- 5. 夕暮れ時はさびしそう... 31票
- 6. RAIN DANCE..... 28票
- 7. 夕陽を浴びて..... 26票
- 8. 赤い糸の伝説..... 25票
- 9. 未来..... 24票
- 10. 歌は世につれ..... 23票



Q・今回のアルバム (BECAUSE OF YOU) の中で好きな曲は？

- 1. BIRTHDAY
- 2. VISITOR
- 3. 狂ったダイヤモンド
- 4. RAIN DANCE
- 5. 吐息のジェラシー

10年以上昔NSPが御茶の水で行なった初コンサートを思い出した。いい(ステキな)大人になったと思った。天野君、元気で頑張ってくださいね！  
横浜市 山本薫

はるばる大阪から仕事休んでベビーシッター頼んで、すごいエネルギー使ってやっとコンサートに来れた。保育つけたらもっとたくさんの人、ファンが来れる。ぜひ考えて下さい。  
大阪府 上野菜穂子

NSPを心のささえにしていた高校時代。そして、今楽しみながら(すみません)明日に向う天野さんの姿に、涙が出、感動しました。  
君津市 山城由佳・西山由美

サングラスをかけてやってたころの天野君、無理があったけど12/15のコンサートはとても自然に天野くんが見えた。  
杉並区 岩瀬千春  
(\*実は天野さんキンチョーのあまりサングラス忘れたんですよ！)

今度バンドなしのコンサートやって下さい。コンサートしてくれて、すごうれしかったです！  
鎌倉市 近藤朗子

NSPはとても好きだったけど、天野くん一人で歌っているのを聞いていると何かさみしい気がします。今度のライブは天野滋の歌ばかりになっているといいな・・・と思いました。  
横浜市 内田玲子

何でもそうだけど、持続するって事は大変なことだと思う。VISITORの歌のように、いつも新しい気持ちで、嬉しい気持ちでいられるってすごいことだね。勝手に自己満足してます。続けてくれてありがとうございます。コンサートで歌ってくれてありがとうございます。  
中野区 須藤美香

最後の"さようなら"はいろいろな意味がこめられているようで感激！  
我孫子市 内海千鶴子

いっぱい、いっぱい近場でコンサートやって下さい。  
茅ヶ崎市 金沢真由美

大変良い。曲がすすむうちにジワリジワリと胸にしみこむようですね。ゲストを交えたトークも絶妙でした。来てよかったです。  
大田区 田幡康宏

S28生まれの彼も大船渡でした。(よく岩手にも行きました。)よくNSPのレコードを交換して聞きました。今は別々に家庭をもっていますが、NSPを開けたあの時が、いつまでも忘れられない。  
大田区 M・N

言葉にならない。最高！過去をひきずるということではなく、古い歌も大切に、新しいものとの調和を！！  
立川市 進藤匡

天野さん、あんまり緊張しないで"さようなら"久しぶりに聞いて涙が出てしまいました。どうもありがとうございます。  
川崎市 平山照美

天野さんがとってもキンチョーしてたと思います。いつものようにスラスラしたおしゃべりではなかったけどNSPを離れて一人になった決意と強さを感じました。がんばってください。  
川崎市 岩崎由起子

# 88' ラジオ キャンペーン

昨年10月21日にアルバムを発売し、その時期10/20~10/31にかけてキャンペーンを行いました。ここで生放送で、天野さんが出演したラジオ番組を、御紹介します。

初日は、福岡からスタート...この日は、昼間FM福岡の『ときめきステーション』に出演したあとNHK福岡の『夕べのひととき』にも出演しました。21日(金)は、アルバムの発売日!この日は、宮崎での仕事...宮崎に入った天野さんは、MRT-Rの『Radio キューブ』の番組に出演...24日(月)は、名古屋のCBC-Rで2本の番組に!まず1本目は、『ラジオ一番』に、そして2本目は『東三河ベストテン』番組でお仕事をしました。25日(火)は、大阪に入り、ラジオ大阪の『ブンブンリクエスト』と朝日放送の『Radio city』に出演...翌26日(水)も前日と同じく大阪でのキャンペーン!!この日も、2本の生放送に出演...まずは、ラジオ関西の『幸子 幸子で歌いちもんめ』それから毎日放送の『ヤングタウン』...最終日の31日(月)は、仙台のFMS『サウンド・ドレッシング』に出演...この他にも、生放送以外の録音での出演などの仕事とかがあって大変忙しかったそうです。しかし、このキャンペーンがあってこそ天野さんの魅力をみなさんにわかって頂く事ができ、また去年のコンサートが大成功と、結びつく事が出来ました!

今年の活動情報も、少しでも早くみなさんにお伝え出来るようにしますので、楽しみに待っていて下さい。



## 編集後記



コンサートから約1ヶ月半、あの鈴木さんの『VISITOR』のさわやかなハーモニーが明るいつ時代の訪れを予感させるかのように、心の中に響いていました。そろそろ、次のコンサートがまちどなうしい今日このごろ...  
ゆりこ

編集不参加の間、来年の冬物の洋服を作っていました。音楽を聴いたり、オシャレしたりみんな自分を盛上げていこうね。

天野

人のしゃべった言葉を紙に書くのは難しかった。(特になまり)

良江

皆様の感想を読んで、気持は一つなのだ実感しています。一日も早く次のコンサート待っています。裕子